

ボートレース福岡経営計画 第3回検討委員会議事録 要旨

1 開催日時

令和8年1月16日（金）14時00分～14時40分

2 開催場所

ボートレース福岡

3 出席者

委員：

合力 知工（福岡大学商学部経営学科 教授）

川原 武浩（株式会社 ふくや 代表取締役社長）

中川 久美（福岡観光コンベンションビューロー 観光事業部長）

吉川 正弥（全国モーターボート競走施行者協議会 総務部企画財政課長）

大和 珠未（BOAT RACE 振興会施行者総合支援部施行者支援チーム マネージャー）

（欠席者）

古賀 竜介（古賀公認会計士事務所 代表（公認会計士）） ※事前意見提出あり
福岡市（事務局）：

経済観光文化局ボートレース事業部長

経済観光文化局ボートレース事業部経営企画課長

経済観光文化局ボートレース事業部開催運営課長 ほか

4 傍聴人

2名

5 議題

ボートレース福岡第3次経営計画（案）について

6 配布資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・配席表
- ・資料1 ボートレース福岡第3次経営計画（案）【概要版】
- ・資料2 ボートレース福岡第3次経営計画（案）

7 議題(要旨)

(1)ボートレース福岡第3次経営計画(案)について

【事務局】資料1「ボートレース福岡第3次経営計画(案)【概要版】」の説明。

【事務局】本日、欠席の古賀委員より事前に、2点ご意見を頂いており事務局より紹介させていただく。まず1点目は「資料1の5ページについて、収益的収支と資本的収支の収支差引がマイナスになってしまうため、資料2の9ページのように補てん財源や資金残高はプラスになることを示したほうが良いのではないか」とのことであった。また、2点目は「資料2の5ページについて、ボートレース福岡の売上が20位であり、ボートレース福岡における課題であるため売上が低迷している理由を記載したほうが良いのでは」とのご意見であった。

【委員】資料1の5ページについて、古賀委員の専門の立場からのご意見のとおりに記載方法で良いのではないかと。

【事務局】ご意見を踏まえ、記載する方向で検討する。売上が20位と低迷している理由については、主にボートレース福岡はデイ場であり、モーニング場やナイター場は通勤前や仕事終わりの時間帯に舟券を購入しやすい環境であるが、デイ場は他場との進行時間の重なりが多いことが要因と考えている。

【委員】その原因に対して、対策はどのように考えているのか。ナイター場への移行を検討するのか、それとも現状のまま何か対策をするということか。

【事務局】ナイター開催となるとモーター音であったり、照明であったり、近隣住民への影響が大きいため、ナイター場へ移行することは難しいと考えている。そのため、現状のままで可能な対策をしたいと考えている。

【委員】売上低迷の理由についても、計画に記載した方がよいのではないかと。

【事務局】ご意見を踏まえ、記載する方向で検討する。

【委員】資料1の5ページの成果指標について、来場者満足度は現状値83.2%に対し目標値85%、社会貢献認知度は現状値51.8%に対し目標値75%としているが、このように設定した根拠はあるのか。

【事務局】来場者満足度については、現状値がすでに80%を超え比較的高い水準にあることから、まずは現状を維持しつつ、加えて2ポイント程度の向上を目指したいということで85%としている。社会貢献認知度については、現状半数しか認知されておらず、目標を高め設定した。「宝くじ」の統計調査報告書の資料によると「宝くじの収益の使い方に関する認知状況」で「宝くじの収益がどのように使われているか」については「知っている」が75.2%であったため、その数値を参考にした。

【委員】資料1の5ページの成果指標の来場者数について、現状値は外向発売所および

本場無料来場者を含むとなっているが、資料2の6ページ図表9のグラフには含まれていないのか。

【事務局】従前は本場有料来場者のみを来場者数としていたが、令和7年9月より集計方法を変更して以降は、外向発売所および本場無料来場者も含めカウントしている。今後、令和7年度以降の来場者を掲載する場合は、集計方法を変更した旨の注釈を記載する。

【委員】主要施策3について、新規の施設設備への投資については、昨今、解体費の高騰などでコンバージョンを前提とした投資を検討する動きもある。例えば、競技棟を転用してホテル等ほかのものに活用するとか、近隣の福岡市民ホールの空き部屋が不足しているときは本場の空きスペースを活用する等、転用性を考慮し検討してはどうか。社会貢献の認知度向上のためにも良いのではないか。

【事務局】そのような視点も持ちながら施設設備への投資について検討したい。

【委員】資料1の4ページの主要施策4（2）の「来場者数に応じたスタンド一部閉鎖等」という表現について、実際は来場者数に応じてスタンドを一部閉鎖して運用していると思われるが、ネガティブな印象を受けるため表現を変更した方がよいのではないか。

【事務局】表現方法の変更について検討する。

【委員】資料1の1ページの第2章「4顧客ニーズへの対応」について、「顧客満足度の一層の向上を図る」と「経費節減」の繋がりが不明である。

【事務局】顧客満足度を向上させるために、サービスを充実させることで必要な経費がかかるが、一方では経費を削減しながら収益を増やすことも必要であることを記載している。

【委員】経費削減も必要であるが、顧客満足度が低下しないよう取り組んでいただきたい。

【委員】これを持ちまして第3回検討委員会を終了させていただく。ありがとうございました。